令和８年10月25日執行

福島県知事選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

個が立つ。福島が動く。「個立型社会」の実現へ



無所属

profile

えんどう雄大（ゆうだい）

41歳（昭和60年生）

いわき市出身
いわき市在住

東京農工大卒
元・福島県庁職員

YouTube チャンネル

① 福島の「食と農」をもっと強く。

県職員として農業行政の現場に携わり、大学・大学院でも農業を研究してきました。県産農林水産物のブランド力向上、担い手支援、中山間地域の農業を守り「安全だから」だけではなく、「おいしいから福島を選ぶ」時代へ。

② 浜・中・会津の「個性」を福島の力に。

福島県は広いからこそ、地域ごとに違っていい。
浜通りの復興・新産業、中通りの農業・製造業・物流、会津の観光・農林業・伝統・IT。それぞれの個性を伸ばし、つなぎ、オール福島の力に変えていきます。

③ 次の世代が「福島を選ぶ」県へ。

子育て、教育、仕事、産業、科学技術。
若い世代が「福島で暮らしたい」「福島で挑戦したい」「いつか福島に戻りたい」そう思える選択肢を増やします。
行政が人生を決めるのではなく、一人ひとりの選択を行政が支える県政へ。

自分らしく、もっと豊かな人生を。

「個立」とは、孤立することではありません。
一人ひとりが自分の意思で人生を選び、挑戦できる。
そして、必要なときには地域や社会が支える。

誰もが自分らしく生きながら、互いにつながり、支え合える福島を目指します。

政治のための政治ではなく 県民のための県政を。

県庁職員として福島を見てきました。
そして今度は、一人の県民として福島を見ています。
組織やしがらみではなく、
現場を見て、話を聞き、自分の頭で考える。
県民一人ひとりが福島の主役になる。
「個立型社会」という新しい福島のあり方を、ここから始めます。



えんどう雄大（ゆうだい）



無所属

はせぬま くにひこ

1967年5月13日
福島県会津若松市生まれ

1 もし、自分の命と引き換えに、たった一度だけ「タイムマシーン」を使えるとしたら、あなたは。使いますか？使いませんか？
使うとしたら、どんな使い方をしますか？

①私は「東日本大震災」の前に戻り「津波」で亡くなる人を「全員」避難させたいんです。

②そして、福島第一原子力発電所に事故が起きない様に対処したい。

2
・物価高の対策
・少子化対策、子育て支援
・経済対策

一世帯あたり年間「十万円」の支援

3 東日本大震災から十五年
「廃炉は終りましたか？あと何基残っていますか？」
「廃炉は永久に不可能です」
―**切り替えましょう。**―

ふくしまは、原子力と共に大復興も遂げるのです。
福島第一原子力発電所の事故の直接の原因は**「津波」**です。
又、今、早急にやらなくていけないのが、
短時間での大雨による「洪水」対策です。
けして福島県も例外ではありません。みなさんの『財産』、『命』が危険にさらされています。
このどちらのキーワードも**「高台へ」**です！

4 「条件があります」
①福島県民が使える電力で有ること。
②ふくしまは、**日本経済**にこれだけ貢献するのだから、破格の、特別な安価でエネルギーをまわして欲しい。

同じ様な設計、建設での、再稼動は決して許しません！

③「廃炉」は中止するのではなく、安全第一にこれからもなるべく速く進めていって下さい。

5 今の**内閣総理大臣、高市早苗**さんは**「原発推進派」**です。
原子力発電所の建て替えも公言しています。
約束を守る高市さんが、内閣総理大臣のうちに少しでも福島に良い条件で話を進めて行きたいのです。

6 私が、第一に同じように動かなくてはいけないと考えているのが農業改革です。
「儲かる農業から」↓**「価値有る農業へ」**福島の「地方創生」には農家の新たなる成功、**収入倍増計画**がかかせません。

7 福島はA－産業に力を入れます！「AI」は思った以上に優れていて、進化が速い様なので「AI」プログラミングによる「タイムマシーン」製作に『真剣』に取り組みます。
日本人のみなさんなら信じているのではないでしょうか！
『タイムマシーン』はいつかは出来るということを！！

私の名前は**『ふくしま男子』**
「A」、「I」、「Z」、「U」、**AIZUMN！**
私の使命は、あくまでも
「全員救助」
です！！
※少しだけ「みなさんの力」をかして下さい！



誰もが自分らしく生きられる福島県に

くらし最優先 福島県の新時代をともに

若者、子育て応援の福島県
保育料・学校給食費 **完全無償化** ・学費無償化 ・奨学金返済支援

物価高からくらし守る福島県
中小企業の **賃金アップ支援** ・県独自の物価高対策 ・ケア労働者の処遇改善

ずっと安心の福島県
シルバーパス・地域交通の充実 **公共交通を守る** ・補聴器購入補助 ・医療・介護の充実

財源はあります

一人あたりの財政規模	
全国5位	福島県 69.2万円
	全国平均 45.3万円
イノベーション・コースト構想	
	6200億円（のべ関連事業費）

だけど現状は…

物価高騰対策	
福島県	6.3億円（6月補正予算）
岩手県	47億円
医療は全国最低クラス	
医師数	42位（10万人当たり）

平和を守ろう 原発なくそう

持続可能な農業を **県独自の農家直接支援制度の創設**

高市政権の暴走にストップ **9条いかし平和外交を**

国の原発回帰にストップ！メガ発電ではなく **地域が主役の再エネ推進**

防災・減災予算の拡充、学校体育館のエアコン設置早急に **県民の命守る災害対策強化**

適切なルールとリスク管理のもとで開発・活用を **AIの暴走を止める国際協定を**

原発被災の経験から

福島第一原発の事故を終わったことにして原発回帰を進める高市政権にモノ言える県政を。
小山田ともこは、原発事故でふるさとを奪われた当事者として、「県民が主役」の復興と原発ゼロを進めます。

県政初の女性知事で ジェンダー平等前に進める

若者、女性の県外流出が止まらず、人口流出全国ワースト2位の福島県。
小山田ともこは男女の賃金格差の是正に取り組み、政策決定に関与できる女性管理職を増やします。多様性の尊重、ハラスメント対策として人権教育で、幼少期からの包括的な性教育を推進します。
小山田ともこなら、県政史上最年少、初の女性知事となります。

小山田（おやまだ） ともこ

33歳 日本共産党

国いいなりの冷たい県政から転換を

国の原発回帰や暮らし置き去りの大軍拡に何も言えない今の県政でいいのでしょうか？
私は双葉郡楢葉町出身です。高校2年生のときに原発事故で家族全員バラバラでの避難を経験しました。だからこそ県民の苦しみに寄り添うことができます。
「物価高で生活が大変」、「学費のためにバイト漬け」、切実な声をたくさん聞いてきました。
ご一緒に、県民のいのち・暮らし最優先の県政に変えましょう。

プロフィール●1993年6月19日生まれ。双葉郡楢葉町出身、磐城高校、信州大学卒。民青同盟福島県委員長を歴任。2012年3月、日本共産党に入党。2025年参院選比例候補。現在、県常任委員、県青年・学生部長。趣味・特技は登山、ピアノ、料理。須賀川市在住。夫と2人暮らし。

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和８年10月25日執行

福島県知事選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

22世紀版 日本列島改造『首都・郡山』の実現!!
故・佐藤栄佐久元知事の功績を糧に!
22世紀の福島県へ繋ぐ!



※AIが生成した『画像』です。

二十二世紀は、愛夢溢れる東北の訪れに!!
二十一世紀は心の時代と言われて二十六年、然し心の時代にはほど遠い昨今。特に東北大震災と言う自然災害は原発事故が重なっての大惨事、加えてコロナ禍。これ等の影響があっての事か、若年層の自殺、犯罪が際立つのが心の時代を大きく逆行している。当然の様に政治の迷走が追い討ち。二大政党制が崩壊し、政党の乱立、結果心の時代と呼ばれる世紀にほど遠く寂寞暗黒世紀。然し日本には象徴としての天皇制が有り、これによって平和日本がある。ところがここに至ってこの象徴天皇制が我が党に有利にと目論んでの政党が突出しての蛮行、これは許せない。私は長く続ける政治活動で三人の師を得た。赤尾敏、池田大作、村山富市の御三人だ。この御三人の頭文字を連ねると「あいむ（愛夢）」となる。来たる二十二世紀は愛夢溢れる世紀とすべく今回の福島県知事選に立候補した次第です。

―皇国大日本―
公明党



※AIが生成した『画像』です。

重点公約

①八紘一宇の実現!
②非核三原則の徹底・厳守!
③女性でも天皇になれる皇室典範の再改正!



※AIが生成した『画像』です。

初めて就職した会社
日本勧業証券株式会社
1960年代初頭の学生時代、夜学で昼間は証券会社で働き株式投資手法を学び資産形成しました。そして高校生の時に西郷村に広大な土地を購入し福島県との縁が生まれました。そして築いた資産は世の為、人の為にと自ら戦う姿勢と背中を見てもらい挑戦する若者を増やしこの国をもう一度戦後復興の元気な時代にしたいと考えています。

今現在の職業
自然塾 白河乗馬学校 代表
身体の弱かった私が元気になれたのは学生時代に馬術部で馬と触れ合ったからであり86歳になっても出馬する体力や気力があるのはお馬さんのおかげです。今も馬主でもあります。西郷村にはJRAのウインズもあります。福島県は馬に縁の深い土地です。奇しくも本年は午年。皆さんにも馬と触れ合って頂きたいです。

座右の銘
なせば成る なさねば成らぬ 何事も
この精神で負ける事を恐れず、わずかな可能性や希望を掴む為、何歳になっても挑戦を続けます、全てはそこから始まるのです!
戦前1940年生まれの私、金山屯が大和魂で先頭に立って戦いますので福島県を筆頭に東北の皆さんも是非一緒に戦いましょう!

profile
1940年6月15日生
（皇紀2600年）86歳
青山学院大学　経済学部　卒業
東京都立大学附属高等学校　卒業
東京都目黒区立第３中学校
東京都目黒区立田道小学校

趣味
馬術
自然遊び

尊敬する人
上杉鷹山（米沢藩）



86歳
出馬歴15回
東京都出身
福島県在住

※AIが生成した『画像』です。



金山屯
かなやま　じゅん

主な略歴

◆生年月日　昭和39年3月26日生
◆学　歴　東京大学経済学部卒
◆経　歴
昭和61年4月　自治省入省
平成13年1月　総務省自治財政局
平成13年4月　福島県生活環境部次長
平成14年4月　福島県生活環境部長
平成16年4月　福島県企画調整部長
平成18年12月　福島県副知事（1期）
平成22年12月　福島県副知事（2期）
平成26年11月　福島県知事（1期）
平成30年11月　福島県知事（2期）
令和4年11月　福島県知事（3期）

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ

働きたい しごと があるふくしまを創る!

5 中小企業振興と新産業の創出・集積を進める!
- 中小企業等の生産・経営基盤の強化やAI活用、働き方の変革を支え魅力を高めます
- 自動車関連、再エネ、医療、ロボット、航空宇宙等産業の強みを活かします
- 福島イノベーション・コースト構想を身近な実感につなげ、更にシンカさせます

6 強くてもうかる農林水産業を創る!
- 園芸団地等産地の大規模化、風評に負けない農林水産物のブランド化を進めます
- 高付加価値生産、多様な農業担い手の確保、スマート農業を推進します
- 農林水産業の多面的機能に着目した取組を推進します

7 環境と調和。「ふくしまならでは」の観光・交流を進める!
- ふくしまSDGs、福島2050カーボンニュートラル、水素社会を推進します
- 自然や文化、食、サイクリング環境など魅力を生かした観光を国内外に発信します
- 主に首都圏を対象とした交流拡大・移住・定住・Uターン、副業活動を推進します

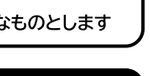


8 地域を結ぶ社会基盤の整備を促進する!
- 基幹的な道路の整備や地域連携道路、復興を支える道路等の整備を促進します
- 小名浜港、相馬港、福島空港の利活用を促進します
- 鉄道や地域の足の利便性向上や利活用、情報通信インフラの整備に取り組みます

震災・原子力災害からの復興と人口減少対策への挑戦。
「ふくしまプライド。」で一歩、一歩、前へ!

ひと を大切にするふくしまを創る!

1 全国に誇れる子育て・教育環境を創る!
- 出会い・結婚、妊娠・出産の希望をみんなで支える「子育て県」を創ります
- 「学びの変革」を進め一人一人の子どもの資質・能力を育みます
- “ふくしまならでは”を生かした学びで子どもたち一人一人の「誇り」を育みます



2 誰もがいきいきと暮らし、住みたくなる社会を創る!
- 誰もが自分らしく生活し人権が守られ個性と能力を発揮できる社会を創ります
- 安心の医療・福祉で支えスポーツや文化を楽しみ暮らせる健康長寿県を創ります
- ふくしまの暮らしを発信し、ご縁を深め新しい人の流れを確かなものとします

安心・快適な 暮らし のあるふくしまを創る!

3 原子力災害からの復興・再生を進める!
- 避難地域の生業・営農等の再生・再開と経営支援、暮らしの向上に取り組みます
- 被災の地から希望の地へ向け魅力を更に高め交流や移住・定住を促進します
- 廃炉・汚染水・処理水等原子力災害の課題には国・東京電力に厳正に対処します



4 環境にも配慮した安全・安心で活力ある社会を創る!
- 自然災害、有害鳥獣、新型感染症などから県民の命と暮らし・経済を守ります
- 環境や地域の特性にも配慮した安心・快適な生活環境の維持・確保を進めます
- 人口減少、物価高騰、食料安保、AI変革等の情勢変化に対応し県民生活を守ります

みんなで創る ふくしまの未来。

私の決意

福島県が誕生して150年。その足跡は逆境と挑戦の連続でした。私たちが直面している震災と原発事故という逆境は、この15年半に渡る挑戦で着実に復興へと向かっています。一方、急速な人口減少、相次ぐ自然災害、物価高騰などの逆風が私たちの暮らしに影を落としています。私は挑戦を続けます。浜・中・会津のオールふくしまで、先人たちから受け継いだ「ふくしまプライド。」を胸に、一歩、一歩、未来を切り拓いてまいりましょう。



無所属
内堀まさお
62才

選挙公約
1．多選に反対。4期16年は長すぎて権力の乱用が懸念されます。
2．基本的な政治方針は従来通り踏襲。ただし、セクハラ・パワハラ、利益誘導や権力による脅し等は許しません。
3．セクハラ・パワハラを減らし、上からの圧力がない働きやすい職場環境にします。
4．情報を開示し、誰もが意見を出し合える開かれた県政を目指します。
5．権力を乱用する地元警察の違法行為や、精神病院への違法な強制入院は許しません。

何が問題なの？

知事は、複数の自殺者まで出ているのに、公立学校、公営プール、警察、役所などでのセクハラ・パワハラを放置し、管理責任を果たしていません。多選のおごりが監督責任を機能不全にしてしまっています。私が知事になったらこれらの悪習は一掃します。

ある公営プールでは、女性へのハイレグ競泳水着の着用の強制が行われています。また不公平な縁故採用、採用規定違反(臨時職員は最長で3年のはずの公務員待遇が無期限に)、職場での乱れた性的関係の横行、クマが出没して(怪我人が出て)も発表せずに大きなイベントの開催を優先するなど、おかしな事がたくさん行われていますが、知事もよく訪れている施設なので気づかないはずはないはずです。

皆様の後押しがあれば、選挙期間中にもっと違法行為の数々を公表できるかもしれません。警察の上層部にもこの問題に関心を示してくれている方がいます。今はまだ力が足りないので、ぜひ応援をお願いします。

経歴
1987年 4月～2022年 3月　宇宙技術開発株式会社で技術者として勤務
2023年10月～2026年10月　スポーツクラブにて水泳指導

福島でのボランティア活動にも参加
2015年 9月～2017年7月　茨城県常総市の水害復旧ボランティアに参加
2018年 8月(夏季休暇中)　西日本豪雨の被災地で復旧ボランティアに参加
2019年10月～2020年2月　台風被害を受けた千葉、茨城、福島(郡山市といわき市)の復旧ボランティアに参加。いわき市には11月～2月末までほぼ毎週通う

2011年頃からセクハラ被害の相談や実態調査を福島で実施

公式ホームページ



藤本昭一
六十一歳

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和８年10月25日執行

福島県知事選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

福島の未来を、県民とともにつくる。

福島は、このままでいいのか。

福島県は今、人口減少、若者の県外流出、地域交通、医療・介護、子育て・教育など、暮らしに直結する課題に直面しています。

私は、これらを個別の問題として捉えるのではなく、**「福島で暮らしてよかった」と思える県をつくる。**という視点から、県政に向き合います。

詳しくはこちら

◎プロフィール　1975年東京都生まれ。飯舘村に移住し、地域に根を張り造園業を営む。

人口が減り続ける福島。これからの未来に向けて、県政を変えていく。



栄かこし 未光 ひでみつ

福島県知事候補

51歳

01 暮らしの安心を守る
長引く物価高から、県民の生活を守る。

02 地域の力をつなぐ
公共交通など、地域の移動手段を支える。

03 医療・介護を支える
年を重ねても安心して暮らせる地域をつくる。

04 こどもの未来を拓く
子育てと教育を支え、若い世代を育てる。

あなたの声をその一票で

アイえらぶふくしま

第23回福島県知事選挙

投票日 10月25日(日)

福島県選挙管理委員会・福島県明るい選挙推進協議会

当日投票に行けない方は、期日前投票又は不在者投票を利用しましょう。

期日前投票・不在者投票期間

10月９日(金)～10月24日(土)



この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

アイえらぶ✓ふくしま

I ♥ FUKUSHIMA

ふくしま150th



福島県は、今年で県政150年。
このまちを、好きだなと思う瞬間がある。
ずっと残したい景色がある。
育てていきたい未来がある。
そんな、私たちの
「ふくしま愛」を一票に。
ここから次のふくしまが動き出す。

期日前・不在者投票

10.9(金)→24(土)

第23回 福島県知事選挙

投票日 10.25(日)

福島県選挙管理委員会・福島県明るい選挙推進協議会

福島県選挙管理委員会

投票の仕方など、詳しくはWEBサイトをご覧ください

投票は18歳から

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。